



2024-25年
会長方針
新井妙高ロータリークラブ
会長 田中正人

■国際ロータリーテーマ 「ロータリーのマジック」

■第2560地区運営方針 「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」

■新井妙高ロータリークラブビジョン声明

「人と絆・奉仕の心・多様性を大切に、グローバルな視点で考え行動する若者の育成を支援するクラブ」として認識される

2019年に出現した COVID-19 ウイルス（新型コロナウイルス）も収束を迎え、コロナ禍からウィズコロナ、そしてアフターコロナという時代になってきました。コロナ禍においては、「奉仕」と「親睦」を根幹とするロータリークラブにとって大変厳しい状況下であり、例会や事業の機会が失われ、喫緊の課題でもある会員拡大もままならない状況でした。コロナ禍により新たな経験や気づきを得る事もありましたが、失われたものの方が多かったと思います。ようやく以前の日常生活を取り戻した今日、今一度ロータリアンとしてロータリーとして輝く為に以下を重点に活動いたします。

1. 会員拡大

会員の拡大は喫緊の課題です。会員数40人を必達とし、クラブとして新たな活力を生み出しましょう。

2. 出席率の向上

俗に言うスリープ会員が多くなったように思われます。コロナが収束した今だからこそ改めて「親睦」の機会を創出しましょう。

3. IM（インターシティミーティング）の実施

本年度 IM の主幹を当クラブが務めます。会員一人ひとりの知恵と力を集結し、素晴らしい IM を開催しましょう。

4. 新井妙高ローターアクトクラブ創立 50 周年事業への全面協力

ローターアクターがクラブや地域社会のリーダーとなれるように導くのがロータリー会員の役割です。創立50周年をお祝いすると共に、全面的に協力し素晴らしい記念事業にしましょう。

5. 近隣クラブとの共同事業の実施

新たな試みとして、財団補助金事業を近隣クラブと共同にて開催いたします。事業自体は勿論ですが、各クラブの運営方法や考え方など多くの事を学ぶ絶好の機会だと思います。クラブビジョン声明達成の一助になれるよう、素晴らしい事業にしましょう。

例会を始めとするクラブ活動、地区行事等への参加をステージに「奉仕」と「親睦」を通じて、新井妙高ロータリークラブが更なる輝きを放てるように努めて参ります。会員皆様のご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。